



佐竹由美

ソプラノリサイタル
英米歌曲シリーズ Vol.4

H. パーセル

オペラ《妖精の女王》より おいで、すべての空の歌い手たち
H. Purcell : The Fairy Queen "Come all ye songsters of the sky"

R. キルター

「シェイクスピアの5つの歌」作品23
R. Quilter : 5 Shakespeare Songs, op. 23

I. ガーニー

「エリザベス朝の5つの歌」
I. Gurney : 5 Elizabethan Songs

D. アージェント

「エリザベス朝の6つの歌」
D. Argento : 6 Elizabethan Songs

R. ヴォーン・ウィリアムズ

「シェイクスピアの3つの歌」
R. Vaughan Williams : Three songs from Shakespeare

S. バーバー

オペラ《アントニーとクレオパトラ》より クレオパトラの死
S. Barber : Antony and Cleopatra "Death of Cleopatra"

シェイクスピアの世界



2014年7月22日 火

19:00 開演 / 18:30 開場

津田ホール

全席自由 4,000円



piano
江口 玲

©堀田力丸

主催：N&A design 協力：タカギクラヴィア株式会社 後援・マネジメント： 日本音楽協会 東京二期会
チケット取扱・お問合せ：二期会チケットセンター 03-3796-1831

©深谷義宣 (aura)

佐竹由美

ソプラノリサイタル 英米歌曲シリーズ Vol.4

シェイクスピアの世界

All the world's a stage, And all the men and women merely players.

世界はすべてひとつの舞台、そして人は、男も女もみな役者にすぎない（『お気に召すまま』より）

アージェントの作品に魅了され、そしてキルターの作品に心躍り、是非次回の英米歌曲シリーズにはシェイクスピアを取り上げたい！そう思い続けてきました。いざ、シェイクスピアの物語作品を調べてみると、『オテロ』『ハムレット』『ロミオとジュリエット』『真夏の夜の夢』などを題材にしたオペラ、そして歌曲にと、枚挙にいとまがありません。シェイクスピアの魅力は、日々の偶然がもたらす出来事の中で抱く、些細な感情を深く掘り下げて描かれていることでしょうか。それは誰もがひとりの役者として「今この瞬間を生きる」ことの大切さを教えてくれているようにも思います。またシェイクスピアの流麗な台詞は、すでに心地よいリズムと音楽に満ち溢れています。これは多くの作曲家が、彼の言葉にインスピレーションを与えられ、美しい作品を残している所以でしょう。

音楽を通し、皆様にシェイクスピアの世界をお楽しみ頂ければ幸いです。

佐竹由美 Satake, Naomi / soprano

東京藝術大学及び同大学院博士課程修了。

在学中、東京藝大「メサイア」公演のソリストとしてデビュー。

学部を首席で卒業、皇居桃華楽堂にて御前演奏の栄を授かる。

ロータリー国際親善奨学生として渡伊。

第53回日本音楽コンクール第2位入賞、同時に最高位に贈られる福沢賞受賞。

イタリア・ノバラ市国際声楽コンクール第2位入賞。

ライブツィヒ第8回バッハ国際コンクール第4位入賞。

バッハ「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」「カンタータ」、ヘンデル「メサイア」、モーツァルト「レクイエム」「ハ短調ミサ」、ハイドン「天地創造」等、宗教作品のソリストとしての活躍は目覚しく、その確かな技術に支えられた透明感のある美声と洗練された歌唱が最大の魅力で常に高い評価を得ている。

また各地でのリサイタルや日本歌曲などのコンサート活動をはじめ、現代作品においても作曲家諸氏から絶大なる信頼を得て数多くの新作品の紹介に関わっている。

大学院博士課程においてはS.バーバー、A.コーブランドなど、20世紀アメリカ芸術歌曲をテーマに研究・演奏を行う。コーブランド《エミリーディキンソンの12の詩》～「アメリカ的」なるものの考察と作品分析～にて博士号を取得。

2009年2月より文化庁芸術家在外研修員としてニューヨークにて研鑽を積む。

オペラにおいても『後宮からの逃走』『ドン・ジョヴァンニ』『フィガロの結婚』『魔笛』『エジプトのヘレナ』（日本初演）など、二期会、東京室内歌劇場、日生劇場などにおいて主要キャストとして活躍、近年はチェステイ、ヘンデル、パーセルなどのバロックオペラにも出演、好評を博す。

2005年ソロアルバム『A Lei ～あなたへ』、2008年『A Singing Bird～歌う小鳥』（日本アコースティックレコード）をリリース。

その他『世界の愛唱歌』『ジョイフル・クリスマス』（キングレコード）、『バッハ・カンタータの森を歩む』I・II・III（東京書籍）、『バッハ幻想の結婚カンタータ』（毎日クラシックス）、シューマンオラトリオ『楽園とペーリ』、国枝春恵作品集『セラフィム』、木下牧子室内楽作品集『ふるえる月』などがある。

2009年よんでん文化振興財団芸術文化奨励賞受賞。2011年カワイサウンド技術・音楽振興財団

第1回音楽振興部門研究助成取得。アンサンブル《BWV2001》メンバー。二期会会員

<http://www.satakes.com/>

江口玲 Eguchi, Akira / piano

東京藝術大学作曲科、ジュリアード音楽院ピアノ科大学院修士課程、及びプロフェッショナルスタディーを卒業。その後、欧米及び日本をはじめとする各国でのリサイタルや室内楽、協奏曲の他、ギル・シャハム、竹澤恭子、アン・アキコ・マイヤース等、数多くのヴァイオリニスト達と定期的に共演。数多くのレコーディングでも高い評価を得ている。

現在は東京、ニューヨークと二つの拠点を行き来し、国際的な活躍を続ける。

作曲・編曲者としても実力を備えた大胆な解釈と表現技法で国内外を問わず活躍を続けている。

現在、洗足学園音楽大学大学院客員教授、東京藝術大学准教授を務めている。

<http://www.akiraeguchi.com>

